

大学日语专业实用教材

# 简明日本文学史

## 双语教材

钱韧 编著

四川大学出版社



大学日语专业实用教材

# 简明日本文学史

双  
语  
教  
材

钱  
韧  
编  
著



四川大学出版社



责任编辑:黄新路  
责任校对:敬铃凌  
封面设计:米茄设计工作室  
责任印制:李 平

### 图书在版编目(CIP)数据

简明日本文学史 / 钱韧编著. —成都: 四川大学出版社, 2011. 3  
双语教材  
ISBN 978-7-5614-5237-0

I. ①简… II. ①钱… III. ①文学史—日本—双语教学—高等学校—教材—汉、日 IV. ①I313.09

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 045087 号

书名 简明日本文学史  
Jianming Riben Wenxueshi

---

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 编 著  | 钱 韧                     |
| 出 版  | 四川大学出版社                 |
| 地 址  | 成都市一环路南一段 24 号 (610065) |
| 发 行  | 四川大学出版社                 |
| 书 号  | ISBN 978-7-5614-5237-0  |
| 印 刷  | 郫县犀浦印刷厂                 |
| 成品尺寸 | 185 mm×260 mm           |
| 印 张  | 18                      |
| 字 数  | 475 千字                  |
| 版 次  | 2011 年 4 月第 1 版         |
| 印 次  | 2011 年 4 月第 1 次印刷       |
| 印 数  | 0 001~3 000 册           |
| 定 价  | 38.00 元                 |

---

版权所有◆侵权必究

◆读者邮购本书,请与本社发行科联系。电 话:85408408/85401670/85408023 邮政编码:610065

◆本社图书如有印装质量问题,请寄回出版社调换。

◆网址:www.scupress.com.cn

## 序

钱韧，现为四川外语学院成都学院日语系青年才俊。2004年3月毕业于日本宇都宫共和国都市经济系，获经济学学士学位；2006年3月毕业于日本作新学院大学大学院经营学研究科，获经营学硕士学位。2006年4月回国，到四川外语学院成都学院日语系任教，担任“日本文学史”、“经贸日语”等专业课的教学工作。

钱韧虽然专攻经济学和经营学，却对日本文学有着特别爱好。在日本留学六年期间，他专注于日本文学史的学习，回国后从事了五年“日本文学史”的教学与潜心研究，其成果便是这本中日文配套的《简明日本文学史双语教材》。

中日文配套的《简明日本文学史双语教材》也许是目前国内日语教学界的第一本双语教材。本教材是根据教学大纲的要求，针对日语专业本科的教学特点和学生实际编写的。其目的是想为大学日语专业提供一本紧贴教学大纲、重点突出、层次清楚、易学易记的双语实用教材。主要内容包括：日本文学各发展时期的历史背景；日本文学各时期的发展概况；每个时期文学的主要特点和历史作用；每个时期文学的主要流派及其文学观点；每个时期文学的主要代表人物及历史地位；每个时期的重要作品及其作品特点、历史地位。内容基本覆盖了日本文学史全部重点知识。

该教材在编写过程中，得到了日本秋草学院短期大学校长深泽郁喜教授、日本作新学院大学刘永鸽教授的指导和帮助。同时，四川外语学院成都学院日本教师小川太一先生特对该教材的日文部分进行了校正。

作为日语教育界的同行，三十余年来的从教经验告诉我们，国内日语教学水平的不断提高正是日语教育界的同仁们不断进取的结果。我相信，钱韧先生的这本中日文配套的《简明日本文学史双语教材》，必将会为国内的日语教学带来新的生机，同时也希望钱韧先生在今后的日语教学中，积极探索，不断进取，为国内的日语教育事业作出贡献。

四川外语学院·东方语学院院长 罗国忠  
2011年4月于川外

# 前 言

笔者在日本留学期间全面学习了日本文学史，回国后又一直从事日本文学史的教学工作。在这个过程中，得到了两点重要的启示：第一，日本文学史的内容覆盖面广，涉及的历史背景、发展过程、文学特点和作家作品太多，必须用双语进行讲解才能使学生理解并掌握；第二，作为一门纵横上千年的国家文学史，容量太大、知识点繁杂，加之文学术语众多，必须进行高度概括，才能适应本科层次的日语专业学生学习，让学生既能掌握重要的知识点，又不至于背上沉重的学习负担。基于上述两点认识，编者萌发了编写《简明日本文学史双语教材》的动机。

本教材编写的主要目的是想为高等院校日语专业提供一本简明扼要、适合教学的双语实用教材。本教材编写的指导思想是：紧贴教学大纲，围绕日本文学史重点及次重点知识进行讲解，对一般性知识仅作简单介绍。同时，注意有机地融合日本史学家和中国史学家的讲解观点，努力做到通俗易懂、易学易记。

为了便于教学，此教材完全按照教学文体编写。根据日本文学史的发展顺序和教学大纲要求，全书共按 22 课编写和讲解，学习时间为一学年，分为上下两个学期授课。上半学期 30 至 32 学时，讲授 1—11 课；下半学期 30 至 32 学时，讲授 12—22 课。为了配合教学，每一课后都设有思考题和练习题，同时在本书的最后附有“重点人物及重要作品一览表”。

本教材的新特点是：这是国内第一本日本文学史的双语教材；这是国内第一本完全用教学文体编写的日本文学史教材；这是一本简明扼要、重点突出、知识实用的日本文学史简明教材。它既覆盖了日语专业本科学生应该学习掌握的主要知识点，又覆盖了日语类专业考级考研的主要知识点。

本教材的适用范围：高等院校大专、本科日语专业学生；全国高等院校非日语专业的文学类学生；报考日语类研究生的考生和日语自学者。本书既是大学教学的实用教材，也可作为考级和考研的重要复习资料。

在本书的编写过程中，得到了日本秋草学院短期大学校长深泽郁喜教授、日本作新学院大学刘永鸽教授以及四川外语学院姚继中教授的指导和帮助。我院日本教师小川太一先生特对本书的日文部分进行了校正，在此表示衷心的感谢！同时，四川外语学院东方语学院院长罗国忠教授在百忙之中特为此书撰写了序言，在此也表示衷心的感谢！

由于本人水平有限，此教材难免有疏漏和不足之处，敬请专家和读者提出批评指正。

编著者

2011 年 4 月

# 目 次

## 第 1 課 日本文学の起源と上代文学の概況 /1

1. 日本文学の時代区分 /1
2. 日本文学の起源 /1
3. 口承文学、記載文学と日本文学との区別 /2
4. 日本文学の起源略図 /2
5. 上代と上代文学の基本概念 /2
6. 上代文学発展の歴史的背景 /3
7. 上代文学の発展過程及び文学形態 /3
8. 上代文学の最も重要な文学形態 /3
9. 上代文学の主な特徴 /5

（中文）第 1 課 日本文学的起源和上代文学概况 /5

## 第 2 課 上代の記載文学と祭りの文学 /9

1. 上代記載文学の主な内容及び重要な作品 /9
2. 現存する日本最古の歴史書——『古事記』 /9
3. 日本最初の国史書——『日本書紀』 /10
4. 日本最初の地誌——『風土記』 /11
5. 上代の祭り文学 /12

（中文）第 2 課 上代的记载文学和祭祀文学 /13

## 第 3 課 上代の詩歌・漢詩文と『万葉集』 /16

1. 上代詩歌発展の歴史的背景及び発展過程 /16
2. 上代詩歌の主な形態 /16
3. 日本最初の和歌総集——『万葉集』 /17
4. 『万葉集』形成・発展の主な過程 /18
5. 上代の漢詩文 /21
6. 上代の歌学論 /22

（中文）第 3 課 上代的诗歌、汉诗文与《万叶集》 /23

## 第 4 課 中古文学の概況 /28

1. 中古と中古文学の基本概念 /28
2. 中古文学発展の歴史的背景 /28
3. 中古文学の発展概況 /28
4. 中古時代の漢詩文と〈和風化運動〉 /29
5. 中古時代に誕生した新しい文学ジャンル /31
6. 中古時代に誕生した新しい文学類型 /32

7. 中古時代の文学評論 /33
  8. 中古文学の歴史的地位 /33
- (中文) 第4課 中古文学的概况 /33

#### 第5課 中古の和歌と漢詩文 /38

1. 中古時代漢詩文の發展概況及び「国風暗黒時代」 /38
2. 中古初期、漢詩文が盛んに行われた原因 /38
3. 中古時代漢詩文の代表作 /38
4. 中古漢詩集の歴史的役割 /39
5. 中古時代和歌の發展概況 /39
6. 中古時代の「和歌の中興」 /39
7. 中古時代和歌の代表作 /40
8. 中古詩歌の代表人物 /41
9. 中古勅撰和歌集の代表作——『古今和歌集』 /41
10. 中古私撰和歌集の代表作——『新撰万葉集』 /42
11. 中古の歌謡と歌論 /43

(中文) 第5課 中古的和歌与汉诗文 /44

#### 第6課 中古の物語文学 /50

1. 中古物語文学の發展概況 /50
2. 中古物語文学の主な類型及び代表作 /50
3. 日本物語文学の鼻祖——『竹取物語』 /51
4. 日本最初の歌物語——『伊勢物語』 /51
5. 日本最初の写実的作り物語——『落窪物語』 /52
6. その他の影響力のある中古物語作品 /53
7. 日本物語文学の最高峰——『源氏物語』 /53
8. 中古時代の歴史物語 /54
9. 中古時代の説話文学 /55

(中文) 第6課 中古的物語文学 /56

#### 第7課 中古の日記文学と随筆文学 /62

1. 中古日記文学の發展概況 /62
2. 中古日記文学の主な特徴 /62
3. 日本最初の日記文学作品——『土佐日記』 /62
4. 中古日記文学の代表作——〈五大女流日記名作〉 /63
5. その他影響力のある中古日記文学作品 /64
6. 中古随筆文学の發展概況 /64
7. 日本古代随筆文学の高峰作——『枕草子』 /65

(中文) 第7課 中古的日记文学和随筆文学 /66

#### 第8課 中世文学の概況 /69

1. 中世文学の概念及び發展の歴史的背景 /69

2. 中世文学の発展概況 /69
3. 中世文学の主な代表人物及び代表作 /71
4. 中世時代の文学新流派 /71
- (中文) 第8課 中世文学的概況 /72

#### 第9課 中世の和歌と漢詩文 /75

1. 中世和歌の発展概況 /75
2. 中世時代の主な和歌集 /75
3. 中世で最も傑出した勅撰和歌集——『新古今和歌集』 /76
4. 日本古代和歌の三大歌風 /77
5. 中世時代の歌学論 /77
6. 中世和歌の新様式——連歌 /77
7. 中世時代の漢詩文 /78
- (中文) 第9課 中世的和歌与汉诗文 /79

#### 第10課 中世の物語文学と説話文学 /82

1. 中世物語文学の発展概況 /82
2. 中世で最も傑出した物語文学様式——軍記物語 /82
3. 日本最初の軍記物語作品——『将門記』 /83
4. 日本古代の最も有名な〈四部合戦状〉 /83
5. 日本軍記物語の最高峰——『平家物語』 /84
6. 中世の歴史物語と史論 /85
7. 中世の擬古物語と短編物語 /86
8. 中世の説話文学 /87
- (中文) 第10課 中世的物語文学和说话文学 /87

#### 第11課 中世の随筆、日記と劇文学 /92

1. 中世随筆文学の概況 /92
2. 中世随筆文学の重要な作品——『方丈記』 /92
3. 日本古代随筆文学の二番目の高峰作——『徒然草』 /93
4. 中世の紀行文学 /94
5. 中世の日記文学 /94
6. 中世劇文学の概況 /94
7. 日本最初の古典演劇形式——能楽 /95
8. 日本古典演劇の創始者——観阿弥 /96
9. 日本古典演劇の万能作家——世阿弥 /96
- (中文) 第11課 中世的随筆、日记和戏曲文学 /97

#### 第12課 近世文学の概況 /102

1. 近世文学の概念及び発展の歴史的背景 /102
2. 近世の町人と町人文学 /102
3. 近世文学の発展概況 /103

4. 近世文学の新類型と新様式 /104
5. 近世時代の文学理念 /104
6. 近世文学の最も重要な代表人物 /104
7. 近世時代の最も重要な文学作品 /105
- (中文) 第 12 课 近世文学的概况 /105

### 第 13 課 近世の詩歌と随筆文学 /109

1. 近世詩歌發展の基本概況 /109
2. 近世詩歌の主な様式 /109
3. 近世俳諧の三大流派 /109
4. 俳諧の最も傑出した代表人物——松尾芭蕉 /110
5. 俳諧における松尾芭蕉の傑出した貢献 /110
6. 俳諧理論における松尾芭蕉の傑出した貢献 /110
7. 俳文・随筆における松尾芭蕉の傑出した貢献 /111
8. 近世俳諧の他の重要人物 /112
9. 近世の狂歌と川柳 /112
10. 近世時代の国学 /113
- (中文) 第 13 课 近世的诗歌和随笔文学 /114

### 第 14 課 近世の通俗文学 /118

1. 近世通俗文学の發展概況及び分類 /118
2. 近世最初の通俗小説様式——仮名草子 /118
3. 近世の最も重要な通俗小説様式——浮世草子 /120
4. 近世通俗小説の重要な様式——読本 /122
5. 草双紙 /124
6. 洒落本 /124
7. 滑稽本 /124
8. 人情本 /125
- (中文) 第 14 课 近世的通俗文学 /125

### 第 15 課 近世の劇文学 /132

1. 近世劇文学の發展概況 /132
2. 浄瑠璃 /132
3. 浄瑠璃の最も重要な代表人物 /133
4. 浄瑠璃の代表作 /133
5. 歌舞伎 /134
6. 歌舞伎の最も重要な代表人物 /135
7. 歌舞伎の主な代表作 /135
8. 日本劇作の第一人者——近松門左衛門 /135
9. 歌舞伎の歴史的地位 /136
- (中文) 第 15 课 近世的戏曲文学 /136

第 16 課 近現代文学の概況と啓蒙期の文学 /141

1. 近現代文学の基本概念及び時代区分 /141
2. 近現代文学発展の歴史的背景 /141
3. 近現代文学の発展概況 /141
4. 近代啓蒙期の文学 /142
5. 啓蒙期の翻訳文学 /143
6. 啓蒙期の政治小説 /144
7. 啓蒙期の新体詩 /144
8. 啓蒙期の文学改良運動 /145

(中文) 第 16 课 近现代文学的概況和启蒙期文学 /145

第 17 課 近代の文学主義 /150

1. 近代最初の文学主義——写実主義 /150
2. 近代の擬古典主義文学 /152
3. 近代の浪漫主義文学 /154
4. 近代の自然主義文学 /157

(中文) 第 17 课 近代时期的文学主义 /161

第 18 課 近代の文学流派 /171

1. 近代の耽美派 /171
2. 近代の余裕派 /173
3. 近代の新現実主義文学運動 /175
4. 近代の白樺派 /175
5. 近代の新思潮派 /178

(中文) 第 18 课 近代时期的文学派别 /180

第 19 課 現代の戦前文学 /187

1. 現代文学の発展概況 /187
2. 戦前文学の概況 /187
3. プロレタリア文学 /187
4. 新感覚派文学 /190
5. 新興芸術派 /191
6. 戦中の文学 /192

(中文) 第 19 课 现代的战前文学 /193

第 20 課 戦後文学と現代文学 /198

1. 戦後文学の概念及び発展概況 /198
2. 民主主義文学運動 /198
3. 無頼派の出現 /199
4. 戦後派文学の誕生・発展 /200
5. 戦後の実存主義文学の発展 /203
6. 戦後の社会派文学 /204

7. 日本の現代文学 /205

(中文) 第 20 课 战后文学和现当代文学 /207

第 21 課 日本近現代の文学大家 /215

1. 日本最初のノーベル文学賞受賞者——川端康成 /215

2. 日本で二人目のノーベル文学賞受賞者——大江健三郎 /217

3. 中間小説大家——井上靖 /219

4. 日本で最も怪異な文学大家——三島由紀夫 /221

5. 日本当代の文学大家——村上春樹 /223

(中文) 第 21 课 日本近现代的文学大师 /225

第 22 課 近現代の詩歌と演劇 /233

1. 近代詩歌の發展概況 /233

2. 近代詩の主な流派 /233

3. 近代の象徴詩派 /233

4. 近代の自由詩派 /234

5. 近代の民衆詩派 /234

6. 近代詩の確立及び他の詩歌流派 /235

7. 近代演劇の發展概況 /235

8. 近代の新劇運動 /235

9. 近代の「二つの戯曲時代」 /237

10. 新劇の終結、他の演劇流派 /238

(中文) 第 22 课 近现代的诗歌和戏剧 /239

练习题 /244

参考书目 /263

附录 日本文学史重要人物及重要作品一览表 /264

# 第1課 日本文学の起源と上代文学の概況

## 1. 日本文学の時代区分

日本文学発展の時代区分について、中日両国の史学研究者は各自の区分方法を有している。中国の史学研究者は一般に日本文学の発展史を四つの時代に分ける。即ち古代文学、近古文学、近代文学と現当代文学である。

一方、日本の文学史家は主に日本文学の発展史を五つの時代に分ける。即ち①上代文学、②中古文学、③中世文学、④近世文学と⑤近現代文学である。また、近代と現代を分離するか否かについても諸説あり、定まっていない。研究者によって異論もあるが、本書は後者の歴史区分に基づいて行うこととする。

## 2. 日本文学の起源

### ◇ 日本文学の起源に関する論争

日本文学の起源について、日本の学术界ではかつて激しい論争があった。

一部の国文学者は二つの起源説を主張していた。一つは、日本文学が人間の感情と性欲から生まれたという説であり、即ち〈情感起源説〉と〈性欲起源説〉である。もう一つはそれが人々の信仰と労働から生まれたという説であり、即ち〈信仰起源説〉と〈労働起源説〉である。しかし、上述の二説は一面的なものであり、それはただ口承文学の起源にすぎない。

今日の日本文学史の学界では、学者の大部分は上述の二説を否定し、新たな起源説を主張している。それらは二説にまとめることができる。一つは、日本文学が自国の口承文学から生まれたという説であり、もう一つは日本文学が漢字の伝来と自国文字の誕生により生まれたものであるという説である。

この起源説は総体的で正しいと捉えられ、文学史の学界では、日本文学の起源の通説とされる。これには「伝承」から「記載」へは歴史的な展開であって、「起源」に直接結び付けるのには異論もある。

### ◇ 日本文学の真の起源

日本文学の真の起源は二説ある。一説は、自国の口承文学から生まれたとする。他説は、漢字の伝来と自国文字の誕生により生まれたとする。

#### ①日本文学は自国の口承文学から生まれたものである

太古の時代から、人々は自分の情感や願望を言い表すために、たくさんの歌謡、神話、伝説や民話などを作った。これらは口承によって代々語り継ぎ歌い継がれていた。日本の文学史の学界ではそれらを総称して〈口承文学〉という。口承文学は日本文学の誕生に豊富な文学の素材を積み重ね、日本文学の起源の最も重要な構成要素の一つとなった。

## ②日本文学は漢字の伝来と自国文字の誕生による生まれたものである

漢字の伝来につれ、昔から伝承されてきた民間に伝わる歌謡、神話、伝説や民話などの〈語りごと〉は徐々に漢字を用いて記載されるようになった。しかし、日本独自の文字を持たなかったため、すべての内容を漢字で記載することは大きな制約を受けていた。

8世紀に入り、吉備<sup>きびのまきび</sup>真備が中国漢字の偏旁を利用して日本の表音文字——片仮名を作り出した。これによって日本の文字が誕生した。日本文字の誕生につれ、日本の口承文学が迅速に記載文学に転化され、日本文学の原形をなした。要するに、漢字の伝来と日本文字の誕生は口承文学が記載文学へ転換していく過程中的の最も重要な転換用具であり、日本文学の最も重要な起源の一つでもある。

## 3. 口承文学、記載文学と日本文学との区別

口承文学＝文学の素材

記載文学＝文学の素材＋文字の記載

日本文学＝文学の素材＋文字の記載＋芸術的創作

## 4. 日本文学の起源略図

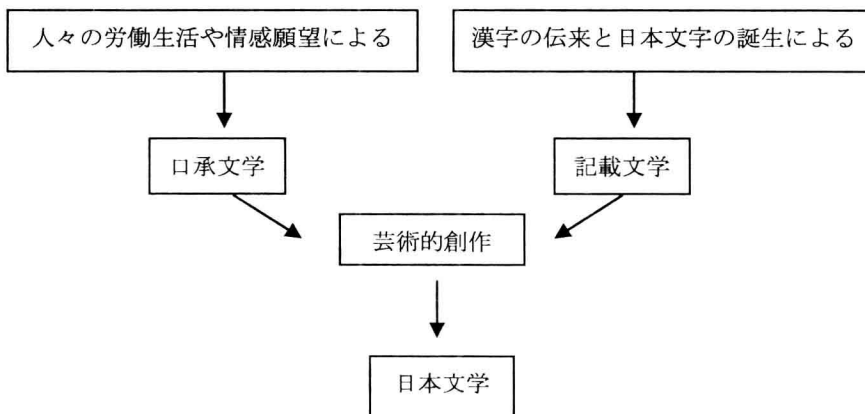


図1 日本文学の起源略図

## 5. 上代と上代文学の基本概念

### ◇ 上代の基本概念

中日両国の史学界には、上代の歴史区分について二説がある。

①一般に太古の時代から奈良時代の終わりまでを上代という。

②多くの小国家が分かれて存在していた一世紀頃から、794年の平安京遷都までを上代という。

## ◇ 上代文学の基本概念

上代文学とは新石器時代から平安京遷都までの日本文学を指す。つまり、太古から奈良時代までの日本文学である。推古時代よりも前を伝承文学（即ち口承文学）時代、その後を記載文学時代と分けることがある。

## 6. 上代文学発展の歴史的背景

上代文学が原始文学（口承）から文字文学へ発展できたのには、主に三つの歴史的因がある。

(1) 人々の労働生活による創作。新石器時代から、人々は労働や社会生活中で情感や願望を言い表すために、たくさんの歌謡、神話、伝説や民話などを作った。このような原始文学（口承）は上代文学発展の重要な素材となった。

(2) 社会の変遷や発展による推進。社会の変遷・絶え間ない発展につれ、人の活動範囲が次第に拡大し、作られた歌謡、神話、伝説や民話などが口誦によって広範囲に語り継ぎ歌い継がれていた。これによって、日本最初の文学形態——口承文学を成した。

(3) 文字の出現による促進。漢字の伝来と日本文字の誕生につれ、人々がこの転換用具を用いて、口承文学を漢字で書き記すようになった。それによって、日本文学の原形——記載文学を成した。この基礎の上に、作家たちの芸術的創作によって、真の日本文学が誕生した。

## 7. 上代文学の発展過程及び文学形態

### ◇ 発展過程

新石器時代 → 縄文文化時代<sup>じょうもん</sup> → 弥生文化時代<sup>やよい</sup> → 古墳文化時代<sup>こふん</sup>（大和朝廷によって国家統一） → 飛鳥文化時代<sup>あすか</sup> → 奈良文化時代 → 794年平安京遷都

図2 上代文学の発展過程略図

### ◇ 文学形態

上代文学の文学形態は、大別して三類とすることができる。

#### ①口承文学

<sup>のりと</sup>（祝詞・<sup>せんみょう</sup>宣命、神話伝説・説話、歌謡・和歌（長歌・短歌）を含む）

#### ②記載文学

#### ③漢詩文

## 8. 上代文学の最も重要な文学形態

上代の文学形態の中で最も重要なのは二つ、即ち口承文学と記載文学である。

## (1) 口承文学

### ①口承文学の基本概念

口承文学とは、文字によらず、口頭のみで後世に伝えられる形態の文学である。伝承文学または口承文芸ともいう。

### ②口承文学の主な種類

口承文学は主に三大類別に分けられる。一、呪文・祝詞<sup>じゅもん</sup>；二、神話・伝説；三、原始歌謡である。

### ③口承文学の歴史的役割

a. 口承文学は日本文学の誕生・発展に豊富な文学の素材を提供した。

b. 口承文学は日本最古の文学形態である。

### ④口承文学の最も重要な伝承者——語部<sup>かたりべ</sup>

語部とは、共同体の〈語りごと〉の専門的な伝承者であり、昔から語り伝えられる昔話、民話、神話、歴史的史実などを現世に語り継いでいく人である。彼たちは口承文学と日本文学の発展に重大な歴史的貢献を捧げた。

## (2) 記載文学

### ①記載文学の基本概念

記載文学とは文字で書き記された文学である。

### ②記載文学の歴史的役割

a. 記載文学は文字で民間に伝わる口承文学を書き記した。これによって、口承文学が保存され、そしてとこしえに伝承されることができた。

b. 記載文学は日本の文学が口承文学から文字文学形式へ展開していった主要なしるしである。

c. 記載文学は日本文学発展の礎石であり、日本文学の原形である。

### ③上代文学の最も主要な作品

<sup>こじき</sup>『古事記』：現存する日本最古の歴史書である

<sup>にほんしよき</sup>『日本書紀』：日本最初の編年体の史書であり、日本最古の最も規範的な勅撰の正史である。

<sup>まんようしゅう</sup>『万葉集』：日本最初の和歌総集であり、現存最古の歌集である。

<sup>ふどき</sup>『風土記』：日本最初の地誌である。

<sup>かいふうそう</sup>『懷風藻』：日本現存最古の漢詩集である。

<sup>かきようひようしき</sup>『歌経標式』：日本最古の歌学書である。

### ④上代文学の最も重要な代表人物

<sup>おおのやすまろ</sup>太安万侶：『古事記』の編者である。

<sup>とねりしんのう</sup>舎人親王：『日本書紀』編修の総裁である。

<sup>おおとものやかもち</sup>大伴家持：『万葉集』の最終編者である。

柿本人麻呂：上代最大の宮廷歌人で、『万葉集』中第一の抒情歌人である。

## 9. 上代文学の主な特徴

上代の文学には、三つの特徴がある。

- (1) 内容的には、主に人々の情感や願望を表現する。つまり、自然の恵みを祈る人々の気持ちや喜び、悲しみの気持ちを言い表す。
- (2) 形式的には、ほとんど率直に表現し、本心を如実に吐露する。
- (3) 作品の大部分は生の記録であるため、史料として貴重な価値を有する。

### 練習問題

1. 日本文学が口承文学また日本文字の誕生により生まれたと言われているのはなぜか。
2. 口承文学と記載文学が真の日本文学ではないと言われているのはなぜか。
3. 上代文学には主にどのような特徴があるか。
4. 記載文学は日本文学の発展過程にどのような重要な歴史的役割を果たしたか。

## [中 文]

### 第 1 课 日本文学的起源和上代文学概况

#### 一、日本文学的时代划分

中日两国的史学家对于日本文学发展时代的划分，有着不同的划分法。

中国的史学家一般把日本文学的发展划分为四个时代，即古代文学、近古文学、近代文学、现当代文学。

日本的史学家统一把日本文学的发展划分为五个时代，即上代的文学、中古的文学、中世的文学、近世的文学、近现代的文学。

作为日本的文学史，应该说日本史学家的划分法更为准确。因此，本教材依据日本史学家划分的日本文学发展的时代顺序进行讲解。

#### 二、日本文学的起源

##### 1. 对于日本文学起源的争论

对于日本文学的起源，在日本学术界曾经有过激烈地争论。

一部分史学家认为日本文学有两种起源说：第一种是感动起源说和性欲起源说。他们认为文学是由人们的心理本能的感动而产生的。第二种是信仰起源说和劳动起源说。他们认为随着社会的发展，人们产生了感动和信仰，这种感动和信仰成为了产生文学的主要原因。但历史证明，这部分史学家对于日本文学起源的认识是片面的。因为心理动机和社会动机只是产生日本文学的因素之一，而且这两种动机产生的只是口承文学，这并不是日本文学起源的全部因素。

另一部分史学家则把日本文学的起源归纳为另外两点：第一，日本文学起源于本国的口承文学；第二，日本文学起源于汉字的输入和日本文字的诞生。历史证明这种认识是正确的，因此，现在这两种观点成为日本史学界对于日本文学起源的基本统一认识。

## 2. 日本文学的正确起源

日本文学的正确起源是：第一，起源于本国的口承文学；第二，起源于汉字的输入和日本文字的诞生。

### (1) 日本文学起源于本国的口承文学

从还没有文字的远古时代开始，人们在耕作、狩猎、捕鱼时和劳动之余的生活中，为了表达自己的情感，为了表达自己对大自然和神灵的寄托自编了许多民谣、民歌、神话传说和故事。后来经过相互传唱和传说形成了日本的口头文学，日本史学界统称为“口承文学”。口承文学为日本文学的诞生积累了丰富的文学素材，成为日本文学最重要的起源部分。

### (2) 日本文学起源于汉字的输入和日本文字的诞生

在中国的隋唐时期，中国的汉字开始传入日本。随着汉字的输入，日本人利用汉字来记录民间流传的民谣、民歌、神话故事和传说，产生了最早的文字文学。但由于日本没有固定的文字，全部用汉字来记录受到了许多限制。后来，在汉字输入的推动下，八世纪时日本留唐学生吉备真备利用中国的汉字偏旁创造了日本的表音文字——“片假名”，日本文字诞生了。日本文字的诞生，迅速把日本口承文学进化为记载文学，形成了日本文学的雏形。因此，汉字的输入和日本文字的诞生是口头文学进化为记载文学最重要的转化工具，也是日本文学最重要的起源之一，可以说没有日本文字就没有日本文学。

## 三、口承文学、记载文学和日本文学

口承文学和记载文学是日本文学的两大起源部分，但它们并不是真正意义上的日本文学。其理由是：口承文学是文学的原始素材，记载文学是原始素材的文字记载，它们都属于“原生态文学”，并没有作者的思想观点和艺术加工。而真正的日本文学，是在记载文学的基础上，增加了作者的思想观点和经过了艺术加工后才形成的。口承文学、记载文学和日本文学的主要区别：

口承文学=文学素材；

记载文学=文学素材+文字记载；

日本文学=文学素材+文字记载+艺术再创作。

## 四、日本文学起源示意图

为了便于学习和记忆，我们可以把日本文学的起源过程简化为一个简单示意图。

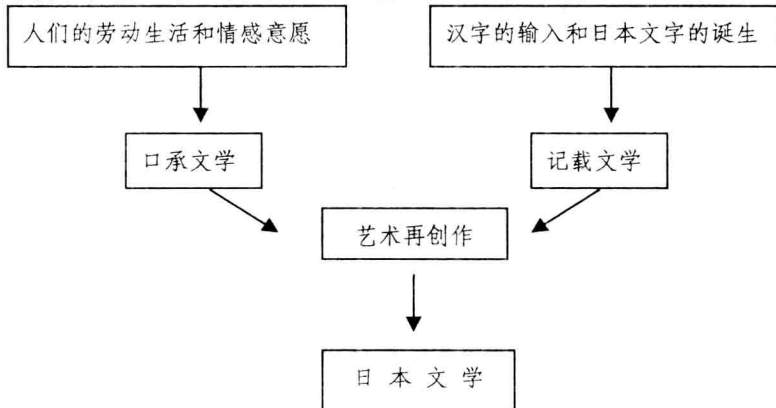


图3 日本文学起源示意图

## 五、上代和上代文学的基本概念

### (一) 上代的基本概念

在中日史学界，对于上代的划分有两种概念，应该说，这两种概念都是正确的。